

放射能簡易測定キットの販売について

堀場製作所製の放射能簡易測定キットは、全国の同社の代理店で購入できます。日本 GAP 協会からも購入することができます。裏面の購入申込書をご使用ください。

商品名：放射能簡易測定セット

内 容：環境放射線モニタ（ラディ：PA-1000 堀場製作所製）

PA-1000 用放射能簡易測定キット（堀場製作所製）

＞キットに含まれるもの：ボウル、スタンド、フタ、取扱説明書

（付属：ベクレル値への変換事例 玄米／土壌／水）

価 格：157,500 円（税込み）（※）

◆これからはじめられる方向けのセットとなります。放射能簡易測定に必要な機材をまとめたセットです。環境放射線モニタ（ラディ：PA-1000）をお持ちでない方は、本セットをお勧め致します。



環境放射線モニタ



PA-1000 用放射能簡易測定キット

商品名：PA-1000 用放射能簡易測定キット

内容：ボウル、スタンド、フタ、取扱説明書、

付属：ベクレル値への変換事例 玄米／土壌／水

価格：26,250 円（税込み）（※）

◆このキットは、環境放射線モニタ（ラディ：PA-1000）をすでにお持ちの方向けであり、環境放射線モニタは含まれません。



PA-1000 用放射能簡易測定キット

<交換部品>

商品名：ボウル

価格：5,250 円（税込み）

商品名：スタンド

価格：9,450 円（税込み）

商品名：フタ

価格：11,550 円（税込み）

（※）「放射能簡易測定セット」「PA-1000 用放射能簡易測定キット」の購入には、日本 GAP 協会正会員がお持ちの共通割引券が使用できます。割引額は、「日本 GAP 協会 各事業料金表」をご覧ください。

放射能簡易測定機器 購入申込書

申込日： 年 月 日

商品名	価格 (税込み)	数量	共通割引券番号 (共通割引券をご利用の場合、ご記入下さい。)	
放射能簡易測定セット	157,500 円		1 枚：	2 枚：
PA-1000 用放射能簡易測定キット	26,250 円			
ボウル	5,250 円			
スタンド	9,450 円			
フタ	11,550 円			

【商品の送付先】

会社名		所属部署	
氏名		会員番号	
E-MAIL			
住所	〒		
電話番号		FAX 番号	

【請求先】(同上の場合は、記入不要)

会社名		所属部署	
氏名		E-MAIL	
住所	〒		
電話番号		FAX 番号	

<備考> (その他、納期や請求書の記載等でご要望あれば、ご記入下さい)

堀場製作所製 放射能簡易測定キットについて

NPO 法人日本 GAP 協会

専務理事 武田泰明

<はじめに>

2011年10月、玄米をはじめとした食品の放射能を簡易的に測定するキットが堀場製作所から発売開始されました。もともと環境放射線（ $\mu\text{Sv/h}$ ・ μ シーベルト毎時）を測る同社製の線量計 PA-1000 Radi を使用し、試料中の放射能（ Bq/kg ・ベクレル値）の目安を測るものです。

発売開始に先立ち、福島県、東京都、茨城県の米穀業者の協力のもと、日本 GAP 協会として 2011年9月に実証試験を行いました。その結果、スクリーニング（疑義のある玄米の選別）を目的として、玄米の放射能を簡易的に測定する機器として有用であると判断を致しました。

安価に短時間で且つ容易に玄米の安全性を確認することができ、全ロット検査・全農家検査などを可能にする機器であると考えます。行政による地域ごとの安全宣言に安心できない消費者の不安感を解消するため、農家・生産出荷団体・米穀業者・小売・外食業者の皆様に活用をお勧めします。

また、線量計 PA-1000 Radi は、すでに 2 万台以上が出回っている線量計であり、これを用いて玄米などの放射能の目安を知ることができるという点も評価できると考えます。玄米の場合、非破壊で検査できることも評価できます。

☆玄米の安全性の確認とは、食品衛生法の暫定規制値を下回ることを意味しています。メーカーが指定する方法と環境で計測した場合、上記の暫定規制値の 1/5 から 2/5 のレベルでスクリーニングすることが可能です。

☆スクリーニングのレベルは自分で設定します。キットに付属の「ベクレル値への変換事例（玄米・土壌・水）」と次ページの「日本 GAP 協会が推奨する使用方法：玄米の場合」を参考にして、スクリーニングのレベルを自ら決め、自主検査に活用することをお勧めします。

☆キットに付属の「ベクレル値への変換事例（玄米・土壌・水）」を参考に、放射能（ Bq/kg ・ベクレル値）の目安を知ることができます。あくまで本キットはスクリーニングのために使うべきものであり、正確な放射能（ Bq/kg ・ベクレル値）を知りたい場合は、サンプルを精密分析に出しましょう。

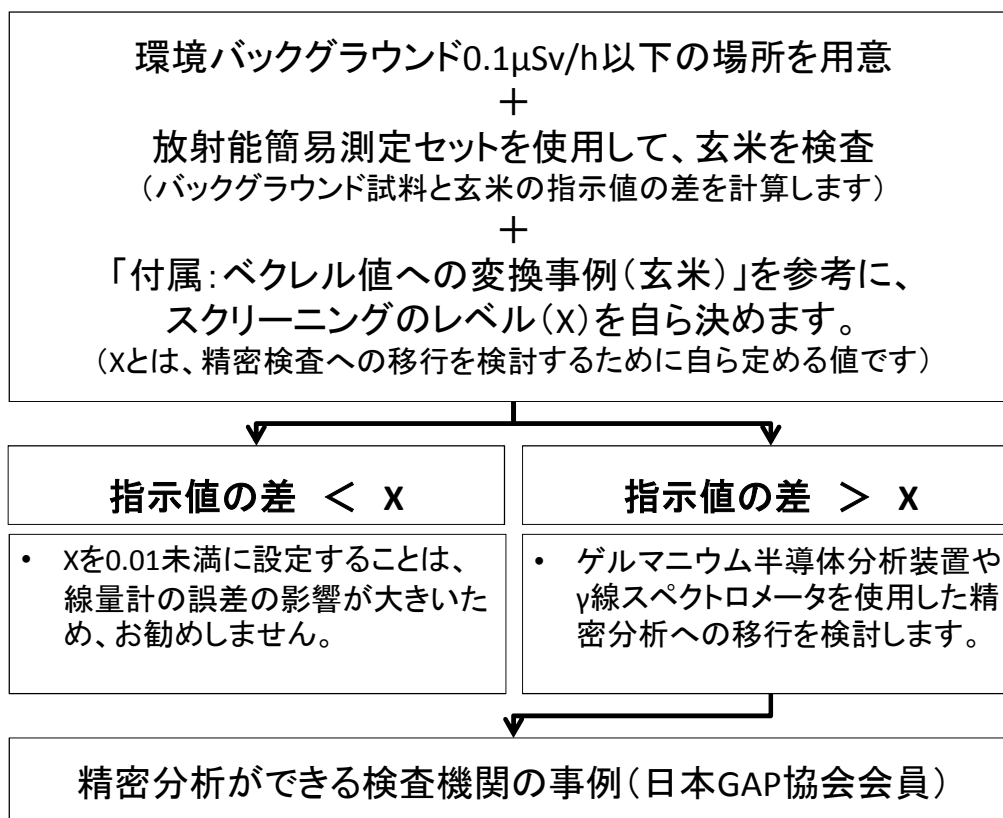
☆キットの自主検査結果をもって、最終的な結論とするのは避けてください。最終的な結論は国が指定する食品の放射能検査方法（精密検査）をもって出すようにしましょう。

☆日本 GAP 協会としては 2011 年 10 月現在、玄米のみで実証試験を終えています。日本 GAP 協会は、土壌と水については実証試験を行っておりません。

☆玄米以外の食品についてもスクリーニングに利用することは可能ですが、ベクレル値への変換事例が無い場合、利用に不便な面があります。

☆食品に含まれる放射性物質は Cs134 と Cs137 を想定して設計されていますが、その比率は時間の経過とともに変化するものです。そのため、付属のベクレル値への変換事例も最新版へアップデートしていくことが利用者に求められます。

＜日本 GAP 協会が推奨する使用方法 : 玄米の場合＞



■ 日立協和エンジニアリング株式会社 電話：0294-55-7048

■ 株式会社つくば分析センター 電話：029-858-3100

■ 財団法人新日本検定協会 電話：045-473-5982

■ 株式会社日本環境科学 電話：023-644-6900

■ 株式会社住化分析センター 電話：03-5689-1213

■ 財団法人山口県予防保健協会 電話：083-933-0018